



愛されて20年のロングセラー  
天候不順に強い年内収穫ダイコン

# ダイコン「冬自慢」

作型図	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
寒地 / 寒冷地							●	●	●	●	●	
温暖地									●	●	●	●
暖地	●	●								●	●	●

● まきどき ● 収穫期

※栽培方法・時期は目安です。適温でのタネまき、地域や条件に合わせた栽培をおすすめします。

## おすすめアイテム

タネ



収穫目安  
タネまき後  
65~85日

ダイコン 冬自慢

※タネ袋のデザインは変更することがあります。

土壌改良材



バイテク  
バイオエース®  
(3kg)

### 基礎情報

分類	アブラナ科
用途	地植え
日当たり	日なた
耐暑性	中
収穫までの期間	タネまき後 65日~85日

## タネをまく前に 毎回確認! タネまき基本3チェック

### ✓ まき時期をチェック

秋まきは春まきに比べるとタネまきができる期間が短いものが多いです。早くまき過ぎると高温で発芽不良になったり、遅いと品種本来の特性が発揮できずよく育ちません。

### ✓ 土の厚さをチェック

発芽するときに光を好むもの、嫌うもの、どちらでもいいものがあります。必ずチェックしてからまきましょう。

### ✓ 土が乾燥していないかチェック

タネまき後、発芽まではこまめに水やりしてください。発芽するまで乾燥は厳禁。ジョウロでの水やりでタネが流されそうな場合は霧吹きを使ってください。

# 手順 1 土づくり

## ●2週間以上前

1.完熟堆肥を入れる



2.苦土石灰を入れる

3.深く(30~35cm)耕す

## ●1週間前

1.肥料を入れる 2.深く(30~35cm)耕す



タネまきの2週間以上前までに苦土石灰とよく腐熟した堆肥を全面に散布して深く(30~35cm)耕します。1週間前に肥料を施して再度耕します。奇形根の原因になる未熟な堆肥は使わないようにしましょう。また、ごろ土はよく取り除きましょう。

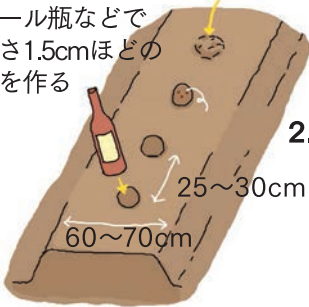
※堆肥におすすめ

「バイテクバイオエース」(土壌改良材) 微生物の力で土をふかふかにします。

# 手順 2 タネまき

## ●タネまき

1.ビール瓶などで深さ1.5cmほどの穴を作る



3.1cmほど覆土する

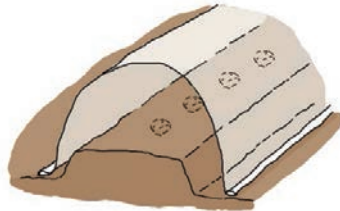
2.タネを3粒まく

25~30cm

60~70cm

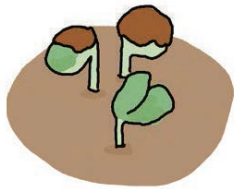
## ●タネまき後(高温期)

防虫ネットなどでトンネル掛けをする



タネまきは、1つの穴(ビール瓶などの底を押し付けて深さ1.5cmほどにした穴)に3粒を点まきし、1cm程度の土をかけ軽く押さえます。株間は25~30cm、畝幅60~70cmとします。鳥や害虫などの被害にあわないように、タネまき後は防虫ネットなどでトンネルをするのもよいでしょう。

# 手順 3 間引き



発芽 タネまき後2~3日



本葉5~6枚で1本立ちにする

適期にまけば2~3日で発芽します。本葉5~6枚のときに、元気のよいものを残して1本立ちにします。間引き適期を逃さずに行いましょう。子葉の形が整っているものは根の形がよく、不整形のものは根の形が悪くなりやすいので、よく観察して間引きます。

# 手順 4 追肥・中耕などの管理

追肥は間引き後、株の周りに肥料をばらまきします。そして、軽く土と混ぜながら、株元に土寄せします。間引き後は株がふらつきやすくなっていますので土寄せは丁寧にします。肥料は株にかからないようにしましょう。

# 手順 5 収穫

●葉全体が立っているとき



食べることができるが、まだ収穫適期ではない

●外葉が垂れ、中心部の葉が開いてきたとき



収穫適期!!

収穫が遅れると根にすが入り、食味が悪くなってしまいます。葉の様子で収穫適期が分かりづらいときはダイコンの上部の太さが約7.5cmになったときが収穫の目安になります。

※最もおすすめする「まき粒数」を記載しています。タネ袋記載の「採苗本数」がとれない場合がございます。